

レジメンcode:	C18-61
適応がん種:	大腸癌
レジメン名:	フェスゴ配合皮下注
間隔:	3週間

備考

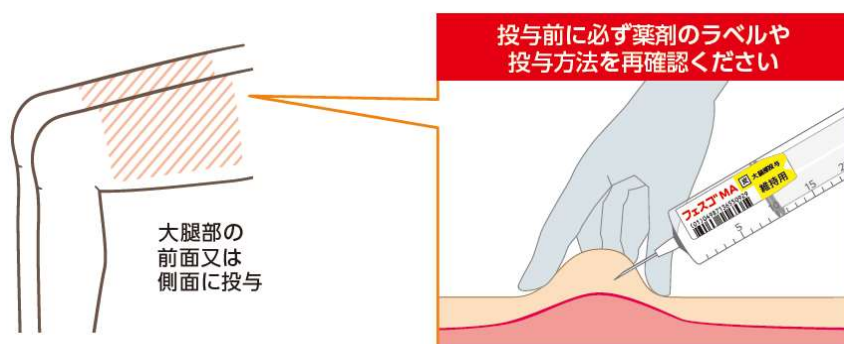
略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	フェスゴ配合皮下注IN、MA[*1]			皮下注[*2]	d1

***心機能障害があらわれることがあるので、本剤投与開始前には必ず患者の心機能を確認すること。**また本剤投与中は、心症状の発現状況・重篤度に応じて適宜心機能検査(心エコー等)を行ない、患者の状態(左室駆出率(LVEF)の変動を含む)を十分に観察し、休薬、投与再開、中止を判断すること。

[*1]フェスゴ配合皮下注はIN(初回用量)、MA(維持用量)の2つの規格があります。

[*2]大腿部へ皮下投与すること。注射部位反応が報告されているので、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、新たな注射部位は前回の注射部位から少なくとも2.5cm離すこと。〈図1参照〉

〈図1〉



*皮膚が敏感な部位や、皮膚に異常のある部位(傷、発疹、発赤、硬結等)は避けて下さい。

*フェスゴ投与時に翼状針の使用は推奨できません。

【皮下注射】初回投与時

- 1) フェスゴ配合皮下注IN 1 V
- 皮下注 **大腿部に8分**以上かけて投与する。
- 〈所要時間 ー 〉

【皮下注射】2回目以降

- 1) フェスゴ配合皮下注MA 1 V
- 皮下注 **大腿部に5分**以上かけて投与する。
- 〈所要時間 ー 〉

経過観察時間は初回投与時は**30分**、2サイクル目以降は、忍容性が良好であれば**15分**まで短縮できる。

【文献】

国内第Ⅱ相臨床試験:EPOC1602試験【(TRIUMPH試験)Nat Med.2021;27:1899-1903 (PMID:34764486)】

国際共同第Ⅲ相臨床試験【WO40324(FeDeriCa試験)Lancet Oncol.2021 Jan;22(1):85-97(PMID:33357420)】

【適応】

がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

RAS遺伝子変異陽性の患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。

フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリノテカン塩酸塩水和物による治療歴のない患者における本剤の有効性及び安全性は確立していない。

*予定されていた投与が前回投与日から6週間以上の時は、改めて初回投与量(IN)から開始する。

◎フェスゴ皮下注の注意事項

*本剤は「皮下投与製剤」のため静脈注射や点滴静脈内注射は行なわないこと。

*シリンジでの保管は、冷蔵庫(2℃～8℃)で24時間まで、室温(20℃～25℃)で4時間まで保管することができる。